

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
I-1-(1)-② 年間を通じた待機児童解消策の推進など保育の充実	4	地域型保育給付（小規模保育）	幼稚園・こども園課・育課	年間を通じた待機児童の解消を図るため、年度中途の入所が困難な3歳未満児の保育ニーズに対応するため、小規模保育事業を実施する幼稚園、保育所等に対し、運営費を助成する。	保育所待機児童数(4月)	0人 (H25年度)	0人	0人	0人	0人	0人 (H30・31年度)	継続	855,606	1,121,105	増額	9,300	課長	0.20人	順調	子ども・子育て支援事業計画に基づき、小規模保育事業を推進し、3歳未満児の入所定員の拡大を図る。		
					保育所待機児童数(10月)	220人 (H25年度)	220人	246人	0人	0人	0人 (H30・31年度)						係長	0.40人				職員
	5	一時預かり事業	幼稚園・こども園課	「子ども・子育て支援新制度」により実施する一時預かり事業において、保護者のニーズに応じて教育時間の終了後等に預かり保育を実施する私立幼稚園を支援します。	幼稚園に対する満足度（教育・保育の内容）	91.3% (H25年度)						—	146,700	143,400	維持	4,650	課長	0.10人	順調	「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、実施園数の拡大を図る。在籍園児以外の園児を広く受け入れる「一般型」を新たに実施する。	順調	・平成29年度末を目標とした、年間を通じた待機児童の解消に向け、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」に基づき、計画的に教育・保育の提供に取り組む。 ・多様化する保育ニーズに対応するため、預かり保育や延長保育などの特別保育のさらなる充実や、病児・病後児保育等に取り組む。
																係長	0.20人	職員				
	6	特別保育事業補助	保育課	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図る。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、統合保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図る。	保育所に対する満足度（保育の内容）	90.4% (H20年度)						継続	776,332	730,384	維持	3,650	課長	0.10人	順調	子どもの生活リズムを整えること、親子で過ごす時間を確保することなど、家庭における子育てと仕事の調和に十分配慮しながら、保護者の多様なニーズに対応して、さらなる充実を図る。		
	7	病児・病後児保育事業	保育課	保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病児中、病児回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	保育所に対する満足度（保育の内容）	90.4% (H20年度)						継続	119,966	137,690	増額	2,900	課長	0.10人	順調	・平成28年度は、ニーズの高い地域において、1箇所の新設を予定している。 ・「病児・病後児保育利用のてびき」やポスターを作成し、関係各施設で配布・掲示を行うとともに情報誌に利用案内を掲載することで、効果的なPRに努める。		

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 （千円）	H28年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人数
8	保育サービスコン シェルジュ事業	保育課	保育所	保育所、幼稚園や地域の子育て支援の事業等の利用について、情報の収集と提供を行うとともに、利用にあたり、子どもや保護者からの相談に応じるため、各区役所及び「（仮称）女性活躍推進センター」に1名ずつ保育サービスコンシェルジュを配置する。	保育所待機児童数（4月）	0人 (H25年度)	0人	0人	0人	0人	0人 (H30・31年度)	継続	20,200	23,266	増額	2,400	課長	0.10人	順調	保育の利用を希望するそれぞれの世帯の状況やニーズに合った保育サービスの情報提供や、きめ細やかな対応には一定の評価を得ており、H28年度も待機児童の解消に向け継続して事業を進めていく。また、平成28年度に開設予定の「（仮称）女性活躍推進センター」における女性の就業支援のワンストップ化の一環として、就労を希望される方への保育サービスに関する情報提供を行うため、同センターに保育サービスコンシェルジュを新たに1名配置する。		
						達成率	100.0%	100.0%									係長	0.05人				
9	保育士等の確保	幼稚園・子ども園・保育課	幼稚園	保育士就職支援事業（保育士資格取得見込の学生等を対象に就職説明会を実施）、保育士資格活用研修事業（保育士の資格を持っていて、現在、保育士の職に就いていない人（潜在保育士）を対象とした研修を実施）、保育士・保育所支援センター開設等事業等（保育士の就職支援や相談等による離職防止）、幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得支援等事業（幼稚園教諭の保育士資格取得支援や幼稚園への就職支援等）により、待機児童の解消を図るため、保育士等の人材確保に取り組みます。	保育所待機児童数（10月）	220人 (H25年度)	220人	246人	0人	0人	0人 (H30・31年度)	継続	13,800	11,447	減額	15,100	課長	0.40人	順調	保育士の確保は全国的にみても喫緊の課題である。 ・「潜在保育士」の就職や活用支援を行うとともに、保育士養成校卒業予定の学生等を対象に、就職説明会を実施するなど、保育所へのスムーズな就職を支援し、保育士確保を図る。 他関係機関（ハローワーク、福祉人材バンク、保育士養成施設、保育所、保育所連盟、他自治体保育士・保育所支援センター）と連携・協力をし、きめ細かな就職支援のもと、効率化を図りながら、保育士確保及び待機児童・未入所児童の解消を目指す。		
						達成率	—%	—%									係長	0.60人			職員	0.60人

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 （千円）	H28年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
I-1-(1)-③ 母子が健康に生活できる環境づくり	10	母子健康診査	子育て支援課	妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見および防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の定期的な健診の機会を提供する。 （妊婦健康診査、B型肝炎母子感染防止事業、先天性代謝異常等検査、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）	妊婦11週までの妊娠届出者の割合	58.8% (H20年度)	目標	平成24年度 (91.9%) 比増加	100 %			平成20年度 (58.8%) 比増加	継続	992,900	988,300	維持	3,615	課長	0.01 人	順調	今後も母子の健康支援のために必要な母子の公費助成を継続しつつ、健診が有効に活用されるよう、引き続き幼児健診のハガキ勧奨も含めた受診勧奨を行う。	順調	・母体の心身の変化が著しい妊娠・出産期における不安の軽減と、健康管理を推進するため、母子公費助成を維持しつつ、母子健康診査が有効に活用されるよう、受診勧奨を促進するとともに、妊娠・出産・育児のための切れ目のない支援を行うため、専門職と地域支援者との協働・連携をはじめ、支援が必要な方へのサポートの強化について検討する。
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	実績	93.4 %	94.2 %			※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）						達成率	— %				
11	乳幼児等医療費支給事業	子育て支援課	乳幼児等の健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療にかかる医療費の自己負担額を助成する。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標	平成24年度 (27.7%) 比減少	平成25年度 (30.5%) 比減少			平成20年度 (53.9%) 比減少	拡大	2,587,200	2,818,400	増額	12,300	課長	0.20 人	順調	現在「未就学児まで」となっている通院医療費の助成対象を、平成28年10月に「小学校6年生まで」拡充する。	順調	・乳幼児医療費支給事業において、現在「未就学児まで」となっている通院医療費の助成対象を、平成28年10月に「小学校6年生まで」拡充する。 ・不妊治療のさらなる充実を図るため、不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精の一部助成や、男性不妊治療について、助成を行う。	
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン第2次計画（H27～31年度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	実績	30.5 %	25.6 %			※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）						達成率	— %					— %
12	すくすく子育て支援事業	子育て支援課	母子健康手帳の交付、妊産婦乳幼児なんでも相談、母親学級、両親学級、育児学級等の母子保健教室、乳幼児発達相談指導「わいわい子育て相談」、乳幼児健診未受診者フォロー事業（児童虐待予防事業）、その他母子保健に関する事業を実施する。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標	平成24年度 (27.7%) 比減少	平成25年度 (30.5%) 比減少			平成20年度 (53.9%) 比減少	継続	26,623	25,211	維持	6,150	課長	0.10 人	順調	今後も両親学級等の母子保健教室の開催や保健相談指導について継続しつつ、より有効な子育て支援のために内容や量について検討する。	順調		
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	実績	30.5 %	25.6 %			※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）						達成率	— %					— %
				妊婦11週までの妊娠届出者の割合	93.4% (H25年度)	目標		平成25年度 (93.4%) 比増加	前年度比 向上	前年度比 向上	平成25年度 (93.4%) 比増加						職員	0.40 人					

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価
13	のびのび赤ちゃん訪問事業	子育て支援課	子育て支援課	<p>子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問することで、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつける。また、うつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いて、支援する。</p>	<p>子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）</p> <p>※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容</p>	53.9% (H20年度)	目標	平成24年度 (27.7%) 比減少	平成25年度 (30.5%) 比減少			平成20年度 (53.9%) 比減少	継続	45,723	49,932	維持	4,115	課長	0.01 人	順調	<p>妊娠・出産・育児のための切れ目のない支援を行うため、のびのび赤ちゃん訪問に関わる専門職と地域支援者との協働・連携をはじめ、支援が必要な方へのサポートの強化について検討する。</p>	
						実績	30.5 %	25.6 %				達成率						— %	— %			
14	<新> 妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援事業	子育て支援課	子育て支援課	<p>区役所を子育て世代包括支援センターと位置づけ、妊娠期から子育て期までワンストップで支援する機能を強化する。特に、産前・産後の不安を解消するため妊産婦等に対する支援の充実を図る。</p>	<p>子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）</p> <p>※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容</p>	44.7% (H25年度)	目標				前年度比増加	平成25年度 (44.7%) 比減少	—	—	6,500	—	990	課長	0.01 人	—	<p>核家族化や地域のつながりの希薄化により、祖父母等によるし支援を受けられず、相談相手もいない等、妊産婦が家庭や地域で孤立している可能性があるため、妊娠中から産後まで切れ目のない支援を行うことで、育児への不安の軽減を図る。</p>	
						実績						達成率										

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数				
I-1-(1)-④ 子育ての不安や悩みを軽減する環境づくり	15	子育てに関する情報提供の充実・PR	総務企画課	子育て中の方が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図ることにより、必要とされる子育てに関する情報が、市民に届く仕組みを構築する。また、本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、幅広く市民に周知することにより、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進める。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標 平成24年度 (27.7%)比減少	実績 平成25年度 (30.5%)比減少	30.5%	25.6%	平成20年度 (53.9%)比減少	継続	4,017	4,266	増額	6,150	課長	0.10人	順調	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(H22～26年度)」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	64.3% (H20年度)	目標 平成24年度 (39.6%)比減少	実績 平成25年度 (31.6%)比減少	31.6%	30.2%	平成20年度 (64.3%)比減少											※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(H22～26年度)」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	—	目標 平成24年度 (59.7%)比増加	実績 平成25年度 (57.9%)比増加	57.9%	59.9%	—											—	達成率	97.0%	103.5%	—
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(H22～26年度)」掲載内容	—	達成率	—%	—%	—																
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度)	目標 平成25年度 (44.7%)比減少	実績 前年度比減少	—	—	平成25年度 (44.7%)比増加											※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」での成果指標(目標)	達成率	—%	—%	—
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(第2次計画)【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	51.7% (H25年度)	目標 平成25年度 (51.7%)比減少	実績 前年度比減少	—	—	平成25年度 (51.7%)比減少											※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」での成果指標(目標)	達成率	—%	—%	—
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(H27～31年度)」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	—	目標 平成24年度 (59.7%)比増加	実績 平成25年度 (57.9%)比増加	57.9%	59.9%	—											—	達成率	97.0%	103.5%	—
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(H22～26年度)」掲載内容	—	達成率	—%	—%	—																
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標 平成24年度 (27.7%)比減少	実績 平成25年度 (30.5%)比減少	30.5%	25.6%	平成20年度 (53.9%)比減少											※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(H22～26年度)」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.3% (H25年度)	目標 平成25年度 (44.3%)比増加	実績 前年度比増加	—	—	平成25年度 (44.3%)比増加											※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」での成果指標(目標)	達成率	—%	—%	—
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(第2次計画)【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																					
子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度)	目標 平成25年度 (44.7%)比減少	実績 前年度比減少	—	—	平成25年度 (44.7%)比減少	※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」での成果指標(目標)	達成率	—%	—%	—															
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(第2次計画)【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																					
16	親子ふれあいルーム運営事業	子育て支援課	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公施設を活用しながら、区役所や児童館などで運営する。	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	—	目標 平成24年度 (59.7%)比増加	実績 平成25年度 (57.9%)比増加	57.9%	59.9%	—	継続	33,037	33,655	維持	7,275	係長	0.35人	順調	引き続き、ニーズにあった研修を実施することで、運営スタッフの質の向上を図るとともに、連絡会議を開催し情報交換を行うことで、各ルーム間の連携や活動の充実を目指す。また、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等とのネットワーク化を図るなど、地域との連携の促進に取り組む。	引き続き、ニーズにあった研修を実施することで、運営スタッフの質の向上を図るとともに、連絡会議を開催し情報交換を行うことで、各ルーム間の連携や活動の充実を目指す。また、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等とのネットワーク化を図るなど、地域との連携の促進に取り組む。						
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(H22～26年度)」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																	
				子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.3% (H25年度)	目標 平成25年度 (44.3%)比増加	実績 前年度比増加	—	—	平成25年度 (44.3%)比増加											※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」での成果指標(目標)	達成率	—%	—%	—	
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(第2次計画)【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																	
				子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度)	目標 平成25年度 (44.7%)比減少	実績 前年度比減少	—	—	平成25年度 (44.7%)比減少											※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」での成果指標(目標)	達成率	—%	—%	—	
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン(第2次計画)【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」策定時のニーズ調査による数値	達成率	—%	—%	—																	

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
17	子ども・家庭相談 コーナー運営事業	子育て支援課	子育て支援課	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげる。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標	平成24年度 (27.7%)比減少	平成25年度 (30.5%)比減少			平成20年度 (53.9%) 比減少	継続	87,899	89,002	維持	6,075	課長	0.05 人	順調	相談員を対象に年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修、事例検討会等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を新たに行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応する。
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	実績	30.5 %	25.6 %			※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値										
					達成率	— %	— %														
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	64.3% (H20年度)	目標	平成24年度 (39.6%)比減少	平成25年度 (31.6%)比減少			平成20年度 (64.3%) 比減少									
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	実績	31.6 %	30.2 %			※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値															
達成率	— %	— %																			
子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度)	目標			平成25年度 (44.7%)比減少	前年度比 減少	平成25年度 (44.7%) 比減少	継続	87,899	89,002	維持	6,075	係長	0.10 人	順調	相談員を対象に年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修、事例検討会等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を新たに行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応する。					
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	実績					※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容															
達成率																					
子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	51.7% (H25年度)	目標			平成25年度 (51.7%)比減少	前年度比 減少	平成25年度 (51.7%) 比減少														
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	実績						※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容														
達成率																					
18	子育て支援総合 コーディネーター 事業	保育課	保育課	「子育て支援サロン“ぴあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを配置し、面接、電話やメールによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連携、調整等の支援を行う。また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や絵本の貸出しを行い、子育て支援の充実を図る。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標	平成24年度 (27.7%)比減少	平成25年度 (30.5%)比減少			平成20年度 (53.9%) 比減少	継続	14,318	14,310	維持	4,650	課長	0.10 人	順調	子育てふれあい交流プラザ「ぴあちえーれ」において、子育て支援総合コーディネーターを3名配置し、子育てに関する相談に応じ、利用者に必要な関係機関との連携、調整等を行う。また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や、絵本の貸出しを行い、子育て支援の充実を図る。利用者に必要な関係機関との連携、調整等も行い、常に情報収集にも努めており、今後も充実を図る。
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	実績	30.5 %	25.6 %			※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値										
					達成率	— %	— %														
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	64.3% (H20年度)	目標	平成24年度 (39.6%)比減少	平成25年度 (31.6%)比減少			平成20年度 (64.3%) 比減少									
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	実績	31.6 %	30.2 %			※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値															
達成率	— %	— %																			
子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度)	目標			平成25年度 (44.7%)比減少	前年度比 減少	平成25年度 (44.7%) 比減少	継続	14,318	14,310	維持	4,650	係長	0.20 人	順調	子育てふれあい交流プラザ「ぴあちえーれ」において、子育て支援総合コーディネーターを3名配置し、子育てに関する相談に応じ、利用者に必要な関係機関との連携、調整等を行う。また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や、絵本の貸出しを行い、子育て支援の充実を図る。利用者に必要な関係機関との連携、調整等も行い、常に情報収集にも努めており、今後も充実を図る。					
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	実績					※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容															
達成率																					
子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	51.7% (H25年度)	目標			平成25年度 (51.7%)比減少	前年度比 減少	平成25年度 (51.7%) 比減少														
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	実績						※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容														
達成率																					

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位			人数			
I-1-(1)-⑤ 特別な支援を要する子育て家庭への対応	19	母子・父子福祉センター運営事業	子育て支援課	<p>「母子・父子福祉センター」は、ひとり親家庭や寡婦の生活上の悩みや相談を受けたり、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で実施する。その他各種研修会や催し等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定、福祉の向上を目指す。</p>	母子・父子福祉センターにおける講座等の受講者延べ人数	4,871人 (H25年度)	—	6,000人												課長	0.02人	順調	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の自立を支援するため、就職支援等講座に取り組むとともに、各家庭が自立に必要な施策を総合的に情報発信している母子・父子福祉センターのPRに取り組む。
					ひとり親家庭の支援・相談窓口を知らない人の割合（母子・父子福祉センター）	62.1% (H25年度)	62.1%	58.8%			平成25年度(62.1%)比減少	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	118.1%	108.7%									係長
	20	<新>ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業	子育て支援課	ひとり親家庭の子どもに対し、親が帰宅するまでの間、学習支援や食事の提供（「子ども食堂」）等を行うことができる居場所づくりを進める。	ひとり親家庭の就業を支援する施策の利用数（母子・父子福祉センターの延べ利用者数）	10,011人 (H25年度)			平成25年度(10,011人)比増加	前年度比増加	平成25年度(10,011人)比増加												
					ひとり親家庭の支援・相談窓口を知らない人の割合（子ども・家庭相談コーナー）	24.1% (H25年度)			平成25年度(24.1%)比増加	前年度比増加	平成25年度(24.1%)比増加	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）											課長

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
21	児童養護施設等措置費	子育て支援課	児童養護施設・乳児院・情緒障害児短期治療施設・自立支援施設・自立援助ホーム・ファミリーホーム・里親において、保護を要する児童に係る必要な経費を負担し、社会的養護が必要な子どもが、それぞれの子どもにあった生活環境で、健やかに生まれ、自立できる社会環境づくりを推進する。	児童養護施設における生活環境整備等の促進	—	—					生活環境整備等の促進	継続	1,847,900	1,954,669	増額	12,825	課長 0.30人	係長 0.30人	職員 0.85人	順調	児童の精神の安定、自立のために、これらの事業は継続して行う必要がある。社会的養護が必要な子どもを家庭的な環境で育てることができるよう、地域小規模児童養護施設や児童養護施設等の職員給与等の改善を実施する。
				地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの実施か所数	11か所 (H25年度)			平成25年度 (11か所)比 向増加	前年度比 増加	23か所 (H31年度)											
22	親子通園事業	保育課	幼児期の子どもの発達や育児に関して、不安や孤独感を抱えている保護者にとっては、思いを共有し、気兼ねなく安心して親子で過ごせる場所を提供する等、伴走型の支援が必要であり、あそびや体験等を通じて、子育ての楽しさや成長の喜びを保護者が感じられるよう保育所での継続した支援、相談を行う。	保育所に対する満足度（保育の内容）	90.4% (H20年度)	平成24年度 (86.0%)水準 の維持もしくは は向上	平成25年度 (78.5%)比 向上				平成20年度 (90.4%) 比向上	継続	3,642	4,363	増額	4,650	課長 0.10人	係長 0.20人	職員 0.20人	順調	H27年度途中に1か所拡充し、支援を強化した。H28年度も引き続き支援体制の強化を図っていく。
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	実績	78.5%	79.1%														
				達成率	91.3%	100.8%															
				保育所に対する満足度（保育の内容）	89.6% (H25年度)			平成25年度 (89.6%)比 向上	前年度比 向上	平成25年度 (89.6%) 比向上											
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）（H27～31年度）」掲載内容	実績																				
達成率																					
23	児童虐待防止（子どもの人権擁護）推進事業	子ども総合センター	児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修及び広報活動を行う。	児童虐待対応件数	374件 (H20年度)	平成24年度 (346件)比 減少	平成25年度 (380件)比 減少				平成20年度 (374件) 比減少	拡大	18,061	21,865	その他	54,000	課長 1.00人	係長 2.00人	職員 3.00人	順調	児童虐待の早期発見、早期対応、また発生予防に努め、迅速かつ適切に対応することは元より、虐待を受けた子どもの心のケアや虐待を行った保護者等への再発防止策の対応が喫緊の課題となっていることから、子どもの心のケアに重点を置いた取組みを強化する。
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	実績	380件	454件														
				達成率	—%	—%															
				児童虐待対応件数	380件 (H25年度)			平成26年度 (454件)比 減少	平成25年度 (380件)比 減少	平成25年度 (380件) 比減少											
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	実績																				
達成率																					

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
I-1-(1)-⑥ 地域などと行政の連携・協働による子育て支援の推進	24	ほっと子育てふれあい事業	子育て支援課	仕事の都合や子どもの軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子どもの預かりや送迎など、子育て支援サービスの充実を図る。	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	-	平成24年度 (59.7%)比増加	平成25年度 (57.9%)比増加							課長	0.01	順調	従来研修に加え、ヒヤリハットのケーススタディや事故が発生した場合の対処法（行政との連携）等の事例研修を充実させ、安全で質の高いサービスの提供に努める。また、市政だよりでの広報のほか、区役所へのポスターの掲示、市の主催（共催）する講演会でのパンフレットの配布等を行い、提供会員数のさらなる増加を図る。			
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合（就学前児童）	44.3% (H25年度)			平成25年度 (44.3%)比増加	前年度比増加	平成25年度 (44.3%)比増加		係長	0.10							
25	みんなの子育て・親育ち支援事業	子育て支援課	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	-	平成24年度 (59.7%)比増加	平成25年度 (57.9%)比増加								課長	0.10	順調	引き続き、育児サークルや子育て支援者グループなどの「子育てに関わる団体」への活動支援として、活動経費の一部を補助する。また、身近な地域での交流の場（フリースペース）や育児サークルについて調査を行い、その情報を発信し、利用促進を図る。さらに、地域づくりや子育て支援に関して豊富な経験・実績を有する地域支援アドバイザーを各地域に派遣し、活動がより活発化するよう団体間のつなぎ役を担い、子育てネットワークの構築を図る。	・地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めるため、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等とのネットワーク化を図るなど、地域との連携の促進に取り組む。		
				子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)			平成24年度 (27.7%)比減少	平成25年度 (30.5%)比減少		平成20年度 (53.9%)比減少		係長	0.30							
26	赤ちゃんの駅登録事業	総務企画課	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の親が安心して外出できる環境づくりを行う。	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	-	平成24年度 (59.7%)比増加	平成25年度 (57.9%)比増加								課長	0.10	大変順調	登録施設数の増加に向けた協力依頼を行うとともに、「赤ちゃんの駅」の認知度向上や利用促進に向けたPR活動を行い、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを進める。			
				子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.3% (H25年度)			平成25年度 (44.3%)比増加	前年度比増加	平成25年度 (44.3%)比増加		係長	0.10								

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 （千円）	H28年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数		
I-1-(2)-① 幼児教育 の充実	27	幼児教育の振興・ 子育て支援機能の 充実	幼稚園・ 子ども園 課	本市の幼児教育の振興と子育て支援機能の強化を図るため、私立幼稚園での幼児教育環境の整備（施設の設定や備品・教材等の購入など）や預かり保育、子育て相談、体験保育などの子育て支援機能の充実に対する助成を行う。	預かり保育の実施園	目標	96 園	94 園				—	拡大	319,721	320,440	その他	6,190	課長	0.06 人	順調	幼児教育の振興を図るため、学校関係者評価を実施する私立幼稚園等に対して、助成の拡充を行うなど、子ども・子育て支援新制度で求められる質の向上に向けた予算の充実に図る。	順調	・幼児教育の振興と私立幼稚園の質の向上を図るため、学校関係者評価を実施する私立幼稚園等に対して、助成の拡充を図る。	
						実績	94 園 (H26年度)	94 園										平成25年度 (91.3%)比増加	前年度比 増加					平成25年度 (91.3%) 比増加
28	保育所、幼稚園、 小学校の連携	幼稚園・ 子ども園 課	保育所、幼稚園の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図るため、公私、保幼小の代表者で構成する「保幼小連携推進連絡協議会」を設置し、年2回協議を行います。また、保幼小連携担当者を対象に研修会を実施する。	幼稚園に対する満足度 （教育・保育の内容）	目標	91.3% (H25年度)				平成25年度 (91.3%)比増加	前年度比 増加	平成25年度 (91.3%) 比増加	継続	652	673	維持	7,825	課長	0.05 人	順調	保育所・幼稚園・小学校の連携を組織的・体系的に進めることが必要と考えており、「保幼小連携推進連絡協議会」における外部有識者等の意見も踏まえ、保幼小連携研修会がより効果的なものとなるよう実施方法等の見直しを行う。	順調	・保育所、幼稚園の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図るため、引き続き、保幼小の継続的な連携を図る。	
				実績	91.3% (H25年度)					平成25年度 (91.3%)比増加	前年度比 増加	平成25年度 (91.3%) 比増加						係長	0.35 人					
				保育所に対する満足度 （保育の内容）	目標	89.6% (H25年度)				平成25年度 (89.6%)比向上	前年度比 向上	平成25年度 (89.6%) 比向上					職員	0.50 人						
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	実績																			
				※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	達成率																			

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数				
I-1-(4)-① 青少年の健全育成・非行を生まない地域づくり	29	青少年ボランティアステーション推進事業	青少年課	<p>社会の構成員としての規範意識や他者への思いやり等の豊かな人間性を育むとともに、社会性や協調性等を身に付けることができるよう、青少年が行うボランティア活動を支援・促進します。</p> <p>①ボランティア活動の推進：青少年が参加できるボランティアプログラムの開発及び関係機関・団体等への働きかけを行います。</p> <p>②社会参加ボランティアの実施：関係機関と連携しながら、ボランティア活動を通じた青少年の社会的自立を支援します。</p> <p>③リーダーの養成や登録：ボランティア活動の知識や実践力を育て、活動を支援できるリーダーの養成及び登録を行います。</p>	<p>青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動者数</p> <p>※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容</p>	6,342人 (H25年度)	目標	3,000人	3,200人	平成25年度 (6,342人) 比増加	前年度比 増加	平成25年度 (6,342人) 比増加	継続	1,887	1,830	維持	6,150	課長	0.10人	順調	<p>「ボランティア出前授業」を周知するなど、青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動者数のさらなる増加に努める。</p>	<p>大変順調</p> <p>・青少年の社会的自立を支援するため、青少年が行うボランティア活動を支援する。</p> <p>・ユースステーションについては、指定管理者制度を導入し、民間事業者独自のノウハウを活用し、サービスの向上を図る。</p> <p>・社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども等について、相談者の自立に向けた円滑な支援を提供するため、相談者の自立度に合わせた体験プログラムの内容の更なる充実について、関係機関と連携した研究に取り組む。</p>				
					実績	6,342人	5,279人				※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	係長						0.50人								
					達成率	211.4%	165.0%					職員						0.00人								
30	「ユースステーション」運営費	青少年課	<p>中学生・高校生を中心とした若者の活動拠点となり、社会参加準備のためのさまざまな活動が体験することができる施設として「ユースステーション」の運営を行う。</p>	<p>青少年への社会体験活動等の機会や場の提供</p>	21件 (H25年度)	目標	青少年のニーズを把握し、機会や場の提供に努める	機会や場の提供の増加	24件	前年度比 増加		継続	27,648	45,673	その他	25,875	課長	1.00人	大変順調	<p>平成28年度から指定管理者制度を導入する。民間事業者独自のノウハウを最大限に活用することにより、利用者サービスの向上を図る。</p>	<p>・青少年を有害環境から守るため警察等関係機関や地域と連携し、有害環境の浄化とともに、非行防止に取り組む。</p> <p>・地域全体で子どもを守る取り組みとして、コンビニエンスストア等地域の事業者も参加する「（仮称）深夜はいかい防止北九州宣言」を定める。</p>					
				実績	21件	36件				係長	0.50人															
				達成率	—%	—%				職員	1.25人															
				目標	—	平成25年度 (3件)比増加				継続	23,343						23,343	維持				3,775	課長	0.10人	順調	<p>相談者の状況を見ながら、適切な時期に的確なリファーマを行い、相談者がより一層円滑に支援をうけられるように努める。また、相談者の自立度に合わせた体験プログラムの内容の更なる充実について、関係機関と連携して研究する。</p>
				実績	3件	2件																	係長	0.15人		
				達成率	—	66.7%																	職員	0.15人		
31	子ども・若者応援センター「YELL」の運営	青少年課	<p>不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子どもや若者が増加している。</p> <p>そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート（コーディネート）していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』を設置し、自立を支援する。</p>	<p>社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている若者の割合</p>	3.57% (H25年度)	目標	平成24年度 (3.64%)比減少	平成25年度 (5.36%)比減少				継続	23,343	23,343	維持	3,775	課長	0.10人	順調	<p>相談者の状況を見ながら、適切な時期に的確なリファーマを行い、相談者がより一層円滑に支援をうけられるように努める。また、相談者の自立度に合わせた体験プログラムの内容の更なる充実について、関係機関と連携して研究する。</p>						
				実績	3.57%	11.47%				係長	0.15人															
				達成率	—%	—%				職員	0.15人															
				目標	222人 (H25年度)			平成25年度 (222人)比増加	前年度比 増加	500人 (H31年度)	継続						42,400	42,400			維持	39,950	課長	1.30人	順調	<p>・非行防止対策については、非行の入り口となり、様々な危険を伴う深夜はいかいを防止するため、これまでの深夜声かけパトロールや青少年支援拠点「ドロップイン・センター」の運営に加え、「（仮称）深夜はいかい防止北九州宣言」を定め、コンビニエンスストア等地域の事業者も参加する、地域全体で子どもを守る取り組みについて検討、実施する。</p> <p>・立ち直り支援においては、協力雇用主会や関係機関との一層の連携の下、就労支援の充実を図る。</p>
				実績	222人					係長													1.00人			
				達成率	—%	—%				職員													2.00人			
32	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	<p>「I非行防止対策」「II非行からの『立ち直り』支援」「III薬物乱用の防止と啓発」「IV地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。</p>	<p>14歳以上の検挙補導人員に再犯者が占める割合（暦年統計）</p>	38.1% (H25年度)	目標	平成24年 (39.3%)比減少	平成25年 (38.1%)比減少				継続	42,400	42,400	維持	39,950	課長	1.30人	順調	<p>・非行防止対策については、非行の入り口となり、様々な危険を伴う深夜はいかいを防止するため、これまでの深夜声かけパトロールや青少年支援拠点「ドロップイン・センター」の運営に加え、「（仮称）深夜はいかい防止北九州宣言」を定め、コンビニエンスストア等地域の事業者も参加する、地域全体で子どもを守る取り組みについて検討、実施する。</p> <p>・立ち直り支援においては、協力雇用主会や関係機関との一層の連携の下、就労支援の充実を図る。</p>						
				実績	38.1%	38.0%				係長	1.00人															
				達成率	—%	—%				職員	2.00人															
				目標	11.0人 (H25年)			平成25年度 (11.0人)比減少	前年比 減少	7.0人 (H31年度)	継続						10人	10人			維持	10人	課長	1.00人	順調	<p>・非行防止対策については、非行の入り口となり、様々な危険を伴う深夜はいかいを防止するため、これまでの深夜声かけパトロールや青少年支援拠点「ドロップイン・センター」の運営に加え、「（仮称）深夜はいかい防止北九州宣言」を定め、コンビニエンスストア等地域の事業者も参加する、地域全体で子どもを守る取り組みについて検討、実施する。</p> <p>・立ち直り支援においては、協力雇用主会や関係機関との一層の連携の下、就労支援の充実を図る。</p>
				実績	11人	9.6人				係長													1.00人			
				達成率	—%	—%				職員													2.00人			
目標	10人 (H25年)			平成25年度 (10人)と同水準	前年度 と同水準	平成25年度 (10人) 比増加	継続	10人	17人	維持	100.0%	課長	1.30人	順調	<p>・非行防止対策については、非行の入り口となり、様々な危険を伴う深夜はいかいを防止するため、これまでの深夜声かけパトロールや青少年支援拠点「ドロップイン・センター」の運営に加え、「（仮称）深夜はいかい防止北九州宣言」を定め、コンビニエンスストア等地域の事業者も参加する、地域全体で子どもを守る取り組みについて検討、実施する。</p> <p>・立ち直り支援においては、協力雇用主会や関係機関との一層の連携の下、就労支援の充実を図る。</p>											
実績	10人	17人				係長						1.00人														
達成率	100.0%	170.0%				職員						2.00人														

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
I-1-(4)-③ 若者の自立支援	33	若者のための応援環境づくり推進事業	青少年課	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加している。そこで、若者のための応援環境づくりを推進する。	社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合	3.57% (H25年度)	目標	平成24年度 (3.64%) 比減少	平成25年度 (5.36%) 比減少			継続	1,496	1,554	維持	2,900	課長	0.10人	順調	「北九州市子ども・若者支援地域協議会」の運営や「ユースアドバイザー養成講習会」の開催については運営や実施の方法の効率化を図る。また、若者向けホームページについては、若者の結婚に関する情報など社会情勢に対応した内容や機能の充実を図る。	・ひきこもり等の若者を総合的にサポートする環境づくりを進めるため、「北九州市子ども・若者支援地域協議会」の運営や「ユースアドバイザー養成講習会」を開催する。 ・若者向けホームページを活用し、結婚に関する情報提供を行う。 ・社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども等について、相談者の自立に向けた円滑な支援を提供するため、相談者の自立度に合わせた体験プログラムの内容の更なる充実について、関係機関と連携した研究に取り組む。		
						実績	3.57%	11.47%			平成22年度 (7.37%) 比減少											係長	0.10人
						達成率	—%	—%															
				子ども・若者応援センター「YELL」の相談件数	2,366人 (H25年)	目標	—	—	平成25年度 (2,366人) 比増加	前年度比増加						職員	0.10人						
						実績	2,366件	2,663件															
						達成率	—%	—%															
34	子ども・若者応援センター「YELL」の運営	青少年課	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加している。そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート（コーディネート）していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』を設置し、自立を支援する。	社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合	3.57% (H25年度)	目標	平成24年度 (3.64%) 比減少	平成25年度 (5.36%) 比減少			継続	23,343	23,343	維持	3,775	課長	0.10人	順調	相談者の状況を見ながら、適切な時期に的確なリファージを行い、相談者がより一層円滑に支援をうけられるように努める。また、相談者の自立度に合わせた体験プログラムの内容の更なる充実について、関係機関と連携して研究する。	・若者の立ち直りを支援するため、協力雇用主会等関係団体との連携等を図る。			
					実績	3.57%	11.47%														係長	0.15人	
					達成率	—%	—%																
						目標	—	—	平成25年度 (222人) 比増加	前年度比増加													
						実績	222人 (H25年度)																
						達成率	—%	—%															
35	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的に展開する。	14歳以上の検挙補導人員に再犯者が占める割合（暦年統計）	38.1% (H25年度)	目標	平成24年 (39.3%) 比減少	平成25年 (38.1%) 比減少			継続	42,400	42,400	維持	39,950	課長	1.30人	順調	・非行防止対策については、非行の入り口となり、様々な危険を伴う深夜はいかいを防止するため、これまでの深夜声かけパトロールや青少年支援拠点「ドロップイン・センター」の運営に加え、「（仮称）深夜はいかい防止北九州宣言」を定め、コンビニエンスストア等地域の事業者も参加する、地域全体で子どもを守る取り組みについて検討、実施する。 ・立ち直り支援においては、協力雇用主会や関係機関との一層の連携の下、就労支援の充実を図る。				
					実績	38.1%	38.0%														係長	1.00人	
					達成率	—%	—%																
				少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）	11.0人 (H25年)	目標	平成24年 (12.7人) 比減少	平成25年 (11.0人) 比減少	平成26年 (9.6人) 比減少	前年比減少													
						実績	11人	9.6人															
						達成率	—%	—%															
						目標	10人	10人	平成25年度 (10人) と同水準	前年度と同水準													
						実績	10人	17人															
						達成率	100.0%	170.0%															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 （千円）	H28年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
II-1-(3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	36	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	14歳以上の検挙補導人員に再犯者が占める割合（暦年統計） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容 ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容による数値	38.1% (H25年度)	目標 平成24年 (39.3%)比減少	実績 38.1%	達成率 —%	38.0% (平成25年 (38.1%)比減少)	—%	—%	—%	—%	—%	—%	課長 1.30人	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・非行防止対策については、非行の入り口となり、様々な危険を伴う深夜はいかいを防止するため、これまでの深夜声かけパトロールや青少年支援拠点「ドロップイン・センター」の運営に加え、「(仮称)深夜はいかい防止北九州宣言」を定め、コンビニエンスストア等地域の事業者も参加する、地域全体で子どもを守る取り組みについて検討、実施する。 ・立ち直り支援においては、協力雇用主会や関係機関との一層の連携の下、就労支援の充実を図る。 	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年を有害環境から守るため警察等関係機関や地域と連携し、有害環境の浄化とともに、非行防止に取り組む。 ・地域全体で子どもを守る取り組みとして、コンビニエンスストア等地域の事業者も参加する「(仮称)深夜はいかい防止北九州宣言」を定める。
少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容 ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容による数値	11.0人 (H25年)	目標 平成24年 (12.7人)比減少	実績 11人	達成率 —%	9.6人 (平成25年 (11.0人)比減少)	—%	—%	—%	7.0人 (H31年度)	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容による数値	係長 1.00人										
北九州市協力雇用主見舞金登録者数 ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容 ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容による数値	10人 (H25年)	目標 10人	実績 10人	達成率 100.0%	17人 (平成25年度 (10人)と同水準)	—%	170.0%	—%	平成25年度 (10人)比増加	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容による数値	職員 2.00人										

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)							
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数						
II-3-(1)-④ 子どもの 人権の尊 重	37	児童虐待防止（子 どもの人権擁護） 推進事業	子ども 総合セ ンター	児童虐待の早期発見及 び被虐待児童の迅速かつ 適切な保護を行うため、 関係機関との連携強化 を図り、児童虐待の防止 等のために必要な体制 を整備するとともに、関 係機関等の職員の研修及 び広報活動を行う。	児童虐待対応件数	374件 (H20年度)	目標	平成24年度 (346件) 比減少	平成25年度 (380件) 比減少			平成25年度 (374件) 比減少	拡大	18,061	21,865	その他	54,000	課長	1.00	人	順調	児童虐待の早期発見、早 期対応、また発生予防に 努め、迅速かつ適切に対 応することは元より、虐 待を受けた子どもの心の ケアや虐待を行った保護 者等への再発防止策の対 応が喫緊の課題となっ ていることから、子ども の心のケアに重点を置 いた取組みを強化する。	・育児不安の軽減を図る など、児童虐待の発生予 防に取り組み、虐待に至 る前に期になるレベルで 適切な支援を行う。 ・児童虐待が深刻化する 前に早期発見・早期対応 に取り組むため、虐待防 止の拠点病院を指定し、 虐待専門のコーディネー ターを配置することで、 医療機関相互のネットワ ークづくりを推進する。					
					※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン（H22～26年 度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン」策定時の ニーズ調査による数値	実績	380	件	454	件														※上記は、「元気発進！ 子どもプラン」策定時の ニーズ調査による数値			
					達成率	—	%	—	%																			
				児童虐待対応件数	380件 (H25年度)	目標			平成26年 度(454 件)比減 少	前年度比 減少	平成25年 度(380 件)比減 少						係長	2.00	人	順調								
				※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン（第2次計画） 【H27～31年度】」掲載 内容	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン（第2次計 画）」策定時のニーズ調 査による数値	実績					※上記は、「元気発進！ 子どもプラン（第2次計 画）」での成果指標（目 標）																	
達成率																							職員	3.00	人			
				児童虐待対応件数	380件 (H25年度)	目標		平成25年 度(380 件)比減 少	平成25年 度(380 件)比減 少	前年度比 減少	平成25年 度(380 件)比減 少	継続	4,500	4,000	減額	2,240	課長	0.01	人	順調	虐待防止の拠点病院を 指定し、虐待専門のコー ディネーターを配置する ことで、医療機関相互の ネットワークづくりを推 進する。併せて、医療機 関が関わった事例など をお互いに検討する場 を設け、虐待通告の徹 底、診断や治療のスキ ルアップを図る。							
				※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン（第2次計画） 【H27～31年度】」掲 載内容	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン（第2次計 画）」策定時のニーズ調 査による数値	実績		454	件		※上記は、「元気発進！ 子どもプラン（第2次計 画）」での成果指標（目 標）																	
達成率								—	%																			職員
				子育ての悩みや不安を感 じる人の割合（就学前児 童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標	平成24年 度(27.7%) 比減少	平成25年 度(30.5%) 比減少			平成20年 度(53.9%) 比減少	継続	87,899	89,002	維持	6,075	課長	0.05	人	順調	相談員を対象に年間を通 じて計画的に行っている 初任者研修、主務者研 修、弁護士との合同研 修、事例検討会等に加え 、子ども・家庭相談コー ナーのニーズに応じた研 修を新たに行うことによ り、相談員の資質の向上 を図り、あらゆる相談 にきめ細かく対応する。							
				※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン（H22～26年 度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン」策定時の ニーズ調査による数値	実績	30.5	%	25.6	%	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン」での成果 指標（目標）																	
達成率								—	%	—	%																	係長
				子育ての悩みや不安を感 じる人の割合（小学生の 保護者）	64.3% (H20年度)	目標	平成24年 度(39.6%) 比減少	平成25年 度(31.6%) 比減少			平成20年 度(64.3%) 比減少	継続	87,899	89,002	維持	6,075	課長	0.10	人	順調								
				※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン（H22～26年 度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン」策定時の ニーズ調査による数値	実績	31.6	%	30.2	%	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン」での成果 指標（目標）																	
達成率								—	%	—	%																	職員
				児童虐待対応件数	374件 (H20年度)	目標	平成24年 度(346件) 比減少	平成25年 度(380件) 比減少			平成25年 度(374件) 比減少	継続	87,899	89,002	維持	6,075	係長	0.10	人	順調	相談員を対象に年間を通 じて計画的に行っている 初任者研修、主務者研 修、弁護士との合同研 修、事例検討会等に加え 、子ども・家庭相談コー ナーのニーズに応じた研 修を新たに行うことによ り、相談員の資質の向上 を図り、あらゆる相談 にきめ細かく対応する。							
				※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン（第2次計画） 【H27～31年度】」掲 載内容	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン」策定時の ニーズ調査による数値	実績	380	件	454	件	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン」での成果 指標（目標）																	
達成率								—	%	—	%																	職員
				児童虐待対応件数	380件 (H25年度)	目標			平成26年 度(454 件)比減 少	前年度比 減少	平成25年 度(380 件)比減 少	継続	87,899	89,002	維持	6,075	職員	0.60	人	順調								
				※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン（第2次計画） 【H27～31年度】」掲 載内容	※上記は、「元気発進！ 子どもプラン（第2次計 画）」策定時のニーズ調 査による数値	実績					※上記は、「元気発進！ 子どもプラン（第2次計 画）」での成果指標（目 標）																	
達成率																												

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度	H28年度	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期 目標	予算額 （千円）		予算額 （千円）	金額 （千円）	職位	人数		事業 評価		局施策 評価	
IV-3-(2)-② 女性が活躍する産業都市づくりの推進	40	特別保育事業補助	保育課	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図る。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、統合保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図る。	保育所に対する満足度（保育の内容） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	90.4% (H20年度)	目標	平成24年度 (86.0%)水準 の維持もしくは は向上	平成25年度 (78.5%)比向 上			平成20年度 (90.4%) 比向上	継続	776,332	732,763	維持	3,650	課長	0.10 人	順調	子どもの生活リズムを整えること、親子で過ごす時間を確保することなど、家庭における子育てと仕事の調和に十分配慮しながら、保護者の多様なニーズに対応した、預かり保育や延長保育などの特別保育について、さらなる充実を図る。	順調	・多様化する保育ニーズに対応するため、預かり保育や延長保育などの特別保育のさらなる充実に取り組む。
						実績	78.5 %	79.1 %										係長	0.10 人				
					保育所に対する満足度（保育の内容） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	89.6% (H25年度)	目標			平成25年度 (89.6%)比向 上	前年度比 向上	平成25年度 (89.6%) 比向上					職員	0.20 人					
							実績																
							達成率																